

地中海世界

ローマ世界

2 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

前3世紀前半に始まった^①ポエニ戦争以降の対外戦争により、農地は荒廃し、ローマの発展を支えてきた中小農民は没落することとなった。これは、ローマに深刻な問題をもたらした。市民の多数を占めていた中小農民の没落は^②共和政を動揺させ、広大な領土の獲得は都市国家であったローマの性格を大きく変質させた。こうした中、市民は閥族派と平民派に分かれて対立した。前2世紀後半、^③グラックス兄弟は、護民官として問題の解決をはかろうとしたが、改革は大地主の反対にあい失敗した。以後、ローマは「内乱の一世紀」と呼ばれる混乱の時代に入った。前2世紀末、将軍マリウスは、無産市民を集めて私兵とした。これ以降、将軍たちは、自分の私兵を持ち、互いに抗争を繰り返した。この間、^④イタリアの同盟都市や剣奴が反乱を起こした。前60年、ポンペイウス・カエサル・クラッススが互いに政治同盟を結び、元老院に対抗して政権を握り（第1回三頭政治）、^⑤対外的な征服活動を進めた。その後、第1回三頭政治が崩れると、ポンペイウスとカエサルが対立し、カエサルが勝利して独裁権を握った。

カエサルの死後、^⑥第2回三頭政治を経て、「内乱の一世紀」を終結させたのは、オクタヴィアヌスであった。権力の頂点に立ったオクタヴィアヌスは、元老院から「アウグストゥス」の称号を贈られた。ここに^⑦元首政と呼ばれる事実上の帝政が始まった。これ以降、ローマは「^⑧ローマの平和」と呼ばれる平和と安定の時代に入っていった。

問1 下線部①に関する記述として、波線部が正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. ポエニ戦争は、エトルリア人の植民市カルタゴとの戦いであった。
- イ. 第1回ポエニ戦争の結果、ローマはイベリア半島を獲得した。
- ウ. 第2回ポエニ戦争で、ローマはカルタゴに最終的に敗北した。
- エ. ポエニ戦争の最中、ローマはギリシアへの進出を始めた。

問2 下線部②に関して、共和政ローマにおいて、平時の行政・軍事を担当した最高官名を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. パトリキ
- イ. プレブス
- ウ. ディクタトル
- エ. コンスル

問3 下線部③に関して、兄ティベリウスは、ある法律を復活させることによって、没落した市民の救済をはかろうとした。この法律名を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 首長法
- イ. リキニウス=セクスティウス法
- ウ. 十二表法
- エ. ホルテンシウス法

問4 下線部④に関して、前91年～前88年、イタリア半島の同盟都市は、ローマに対して、ローマ 権を要求して反乱を起こした。空欄 に該当する最も適切な語句を、漢字2字で記せ。

問5 下線部④に関して、前73年に起こった剣奴の反乱の指導者名を、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. アタナシウス イ. ハドリアヌス ウ. スパルタクス エ. スキピオ

問6 下線部⑤に関して、カエサルはガリアを征服した。ガリアは現在のほぼどこの国に該当するか。該当する国名を、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. イギリス イ. ドイツ ウ. フランス エ. スペイン

問7 下線部⑥に関して、第2回三頭政治でオクタヴィアヌス・レピドゥスとともに政治同盟を結んだ人物名を記せ。

問8 下線部⑦に関して、元首政とはどのような帝政であったか。次の語句を必ず用いて、20～30字で記せ。

プリンケプス 共和政

問9 下線部⑧は約何年間続いたか。次の中から選び、符号で答えよ。

ア. 約150年間 イ. 約200年間 ウ. 約250年間 エ. 約300年間

問10 下線部⑧の時代に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア. ローマには、インドなどアジア各地の産物が、季節風貿易によってもたらされた。

イ. 「五賢帝」の時代はローマ帝国の最盛期となった。

ウ. トラヤヌス帝の時、ローマ帝国の領土は最大となった。

エ. ローマ人によってつくられたルテティアは、現在のロンドンの始まりとなった。